

令和8年度 湖東小学校 グランドデザイン

茅野市の教育

21世紀を切り開く 心豊かで、たくましく、やさしい、夢のある 子ども
縄文のビーナスプラン（一人ひとりの多様性と力を伸ばす教育への転換・創造）

【心のよつばのクローバープラン】

心豊かで…子どもの心情・課題を大切にされた考え、議論する道徳
たくましく…認められ、自己有用感が高まる生活づくり 生徒指導
やさしい…仲間・集団づくりとソーシャルボンドを基礎としたいじめ対策
夢のある…多様性を包み込む学校づくりとていねいな支援体制

生きる力を育む

【縄文のビーナスプラン】

- 調べる学習コンクール（興味関心からスタート）
- 読書・図書館教育（ことばとところを育てる）
- キャリアパスポート（小中高をつなげる）
- 子どもサポートセンター（多様な学びの場）
- 生き方教育（自分たちが生きていく未来をかく）
- 縄文市民科（自立・協働・創造に学ぶ）

北部中区教育目標 豊かな自然・文化の中で、**支え合い**、たくましく、共に考え、未来（地域）を担う子ども〜縄文人の心

【湖東小の子どもたち】

- ・元気に遊び、心根がやさしい。
- ・創る事を楽しむ意識が高まっている。
- ・言葉がけに素直に反応できる。
- ・主体性や、他を思いやる心を更に育てたい。

【願う子どもの姿】

学校教育目標
考える子
すすんで取り組む子
思いやる子

【地域の様子】

- ・学校に大変協力的である。
- ・明るく楽しく生活できる安心な学校を願っている。
- ・地域を知り、地域で学び育つことを期待している。

考える子

- ・考えることを楽しむ子
- ・対話によって考えを広め、深める子

すすんで取り組む子

- ・自ら願いをもち、創ることを楽しむ子
- ・気持ちを整えすすんで清掃に向かえる子

思いやる子

- ・気持ちのよいあいさつができる子
- ・相手の立場になって考え、行動する子

【指導目標】

特別支援教育を基盤としたすべての子どもを※包摂する学校

～一人ひとりに居場所がある 明日も来なくなる学校～

※あらゆる人・もの・文化・価値観を排除せず、包み込んで取り組むこと

【具体目標】

全校授業研究テーマ 「～考えることを楽しむ子ども～」

茅野市重点 ①子ども理解
②授業改善 ③学級経営

1 授業づくり ②

- ・ユニバーサルデザインを取り入れた分かりやすい授業
- ・「納得する」「学ぶ意味を感得する」「知的好奇心が高まる」「わからなさを出出できる」「創造を楽しむ」授業づくり
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

2 探究活動づくり（縄文のビーナスプラン2小中一貫しての「心おどる学びの体験」づくり） ③

- ・地域と繋がり、縄文市民科・生活科・総合的な学習の時間を軸にした探究的な学びへの追求（なぜ？ もっと！）
- ・子どもの願いを取り入れた学校行事・児童会活動で創造性を育む

3 ころづくり ①

- ・あいさつの価値を感じる活動、児童会と協働で気持ちのよいあいさつを交わす
- ・良さを見つめ、認め、その子らしさが生きるための支援。
- ・違うことの良さを認め合う学級づくり
- ・豊かな言葉と心を育む読書活動の推進

- 1 生きて働く「知識・技能」 2 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」
3 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

【地域・家庭とともに歩む学校】

校内研修

- ・非遵行為防止の徹底 ・読書教育
- ・職員の専門性に学び合う ・検査理解
- ・信州型UD 多様性を包み込む学校

地域・家庭との協働

子どものための働き方改革

- ～心身とも充実して子どもに向き合うために～
- ・業務の効率化に向けた意識改革と学校体制
- ・「学校と教師の業務3分類」の検討・推進

開かれた学校

- ・学校、学級だよりによる発信
- ・学校自己評価、外部評価
- ・地域や保護者の願いの汲み上げ
- ・保護者や地域の方が参加参画する機会の工夫
- ・TOCO-TONの理念追求
- ・「ふれあい広場」地域の方の場の設置

湖東小コミュニティスクールの推進

- ・湖東のひと、もの、こと、心に触れる
- ・地域を知り、地域に愛着と誇りをもつ
- ・湖東の自然や伝統を生かした教育活動
- ・地域の方の専門性や経験、力を生かす
- ・学校を地域の方の場に
地域を子どもの学びの場に

地域・諸団体との連携

- ・「育ちあいちの」との連携
- ・湖東の教育を語る会
- ・学校運営協議会の声を生かした学校運営
- ・日々の安全の確保、非常時や緊急時を想定した連携